

私たちの祖先が、ずっと大切に守ってきた鎮守の森。
鎮守の森は、日本人の自然観と文化に強い影響を与え、豊かな心をはぐくんできました。
そして、そこで行われる「まつり」をとおして地域の核となり、住民同士をつなぐ重要な役割を担ってきました。

日本財団は、被災した神社の鎮守の森を復活させ、住民の心のふるさとを復活させます！

<支援の意義>

- 鎮守の森は先祖や氏神様がやどる神聖な場所とされてきた＝被災者の鎮魂の森をつくり、慰める
- 鎮守の森はまつりを行う場として認識され、住民同士が絆を深める場とされてきた＝芸能披露の場を復活させ、コミュニティを再生させる
- 鎮守の森は唯一日本の潜在自然植生をそのまま保全してきた森とされる＝日本の本来の森を復活させ、失った自然を取り戻す

ふるさとの復活



※宮脇昭・国際生態学センター所長の協力のもとで進めるが、当財団が認めた場合、宮脇方式に沿わない場合もあるものとする。

2012春～2015春にかけ、コミュニティの核としての神社（鎮守の森）の復活を支援する

- 地域：岩手、宮城、福島の前被災地域（主として沿岸部）
- 対象：復興の象徴となる各地方の中核的な神社等における鎮守の森 30カ所程度
- 予算：約3億円（約1,000万円×30カ所）
- 内容：鎮守の森の復活（植樹）に直接必要な土壌改良費、苗代、ワラ代他
- 時期：2012年春～2015年春の期間
- 共同事業先：（宗）神社本庁、（特）日本学生ボランティアセンター **Gakuvo**
（宗）岩手県神社庁、（宗）宮城県神社庁、（宗）福島県神社庁

◆第1弾植樹祭◆2012年6月24日（日）八重垣神社（宮城県亶理郡山元町）
植樹する苗の本数：約3,500本 植樹に参加する人数：約500人



<岩手県>

対象神社（全流出）2社
被災神社275社／858社中

<宮城県>

対象神社（全流出）21社
被災神社319社／932社中

<福島県>

対象神社（全流出）30社
被災神社915社／3,032社中

上記のうち、当面の間は約30社
を選定し植樹を行う予定

